

第1回九州・中高校生吃音者のつとめ

～吃音（どもり）を持つあなたへ～

きつおん

吃音（どもり）を持つ中高校生（小学生も可）のみなさん、

及び保護者の方、吃音問題に関心のある方の参加をお待ちしています

＜趣旨＞ 中学高校生の吃音者およびその保護者に、分かち合い・気づきの場を提供すること
「3つの分かち合い（体験・知恵・情報）により、新たな気づきを体験する」

多感な思春期の中学高校生時代に吃音の悩みを分かち合う場所はほとんどありません。中学校のことは教室は全国的にも少なく、自分の将来について、また自分と吃音の関係について、ひとりで悩みを抱え込んでいる中高校生は多いと思われます。共通の悩みを抱えた同世代の人たちと出会うことで、悩みや体験を分かち合い、共に考え、新たな気づきを体験し、吃音に負けない力をつけることが期待できます。言友会として、私たち成人吃音者の生の言葉を伝え、共に考える時間を持つことで、中高校生の吃音問題の解決に少なからずお役に立てるのではないかと考えています。保護者の方にもぜひご参加頂ければと思います。

福岡言友会 会長 岩下道人

日時：平成21年3月22日（日）

13:00～16:30（受付：12:30～）

場所：あいあいセンター 7階（福岡市立心身障がい福祉センター）

福岡市中央区長浜1丁目2-8

TEL: (092) 721-1611 (代表)

当日の主な内容

☆体験談発表

（中高校生当事者、成人吃音者、保護者）

☆講話：「思春期の吃音とつき合い方」

講師 見上昌睦

福岡教育大学特別支援教育講座教授

☆グループワーク

参加費：無料

問合せ・申し込み先

[事務局] 〒816-0811 春日市春日公園 2-8-4

池田邦彦 TEL/FAX : 092-582-6754

携帯 : 090-5282-8419

E-mail : CXJ04400@nifty.com Homepage:

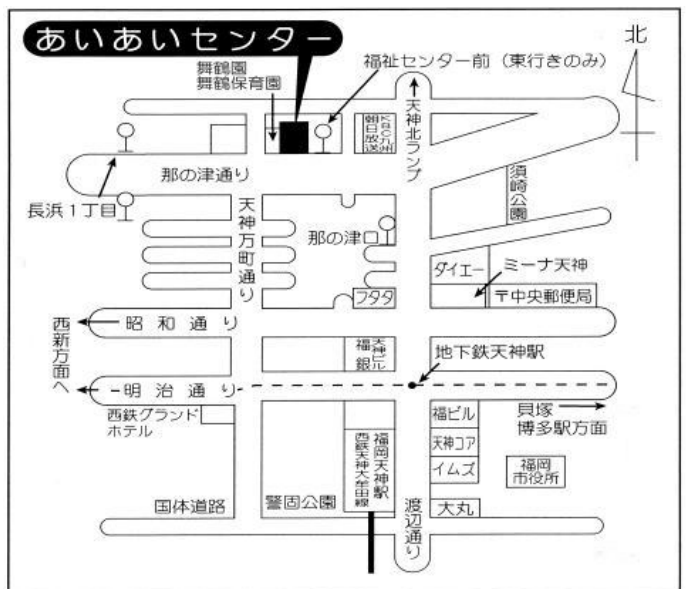
福岡言友会 検索

当日参加も可能ですが

3月13日（金）までに申し込んで頂けたら
準備の都合上助かります。

主催 福岡言友会、NPO法人全国言友会連絡協議会

後援 福岡県、福岡市、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会
福岡県難聴・言語障害教育研究会、福岡県言語聴覚士会
NPO法人三つのいじの会（順不同）



げんゆうかい

言友会とは

言友会とは吃音（どもり）者のセルフヘルプ・グループ（自助グループ）です。一人で悩むのではなく、皆で力を合わせて吃音問題に取り組んでいこうと活動しています。昭和41(1966)年に東京で発足し、東京に続き京都や大阪にも誕生し現在31の言友会があります。各地の言友会が協力して全国言友会連絡協議会（略称：全言連）を作り、年1回のワークショップ(全国大会)を開いたり、隔月で機関誌全言連ニュースを発行しています。

どもりは治りにくいという現実があります。私たち吃音者は、現実を受け入れた上で、どもりとどうつきあっていくかを考える必要があります。全言連では、昭和51年、『吃音者宣言』を採択しました。これまでの「どもりは必ず治すべきもの」という考え方を転換し、「どもりと上手につきあう」という方向を打ち出したものでした。現在、各地の言友会が、それぞれ主体性を持ちながら、例会や会報の発行などを通じて、吃音に関わる様々な情報交換を行い、吃音問題の克服と解決へ向けて活動しています。

九州には、北九州、熊本、大分に言友会が存在。長崎には、ながさき吃音 110 番という仲間もいます。

吃音者宣言

『私たちは、長い間、どもりを隠し続けてきた。「どもりは悪いもの、劣ったもの」という社会通念の中で、どもりを嘆き、恐れ、人にどもりであることを知られたくない一心で口を開くことを避けてきた。

「どもりは努力すれば治るもの、治すべきもの」と考えられ、「どもらずに話したい」という、吃音者の切実な願いの中で、ある人は職を捨て、生活を犠牲にしてまでさまざまな治す試みに人生をかけた。

しかし、どもりを治そうとする努力は、古今東西の治療家・研究者・教育者などの協力にもかかわらず、充分にむくわれることはなかった。それどころか、自らのことばに嫌悪し、自らの存在への不信を生み、深い悩みの淵へと落ちこんで行った。また、いつか治るという期待と、どもりさえ治ればすべてが解決するという自分自身への甘えから、私たちは人生の出発（たびだち）を遅らせてきた。＝中略＝

全国の仲間たち、どもりだからと自身をさげすむことはやめよう。どもりが治ってからの人生を夢見るより、人としての責務を怠っている自分を恥じよう。そして、どもりだからと自分の可能性を閉ざしている硬い殻を打ち破ろう。

その第1歩として、私たちはまず自らが吃音者であることを、また、どもりを持ったままの生き方を確立することを、社会にも自らにも宣言することを決意した。＝略＝

昭和51(1976)年5月1日 言友会創立10周年記念大会にて採択』

福岡言友会の例会では何をするの？

例会をまとめてみると、①たくさん話そう ②声を出そう・表現しよう ③語ろう、人を受け入れよう ④学習しよう ⑤言友会活動のすすめ となります。まず、自分のことを「話そう」「聞こう」ということから例会が始まります。これまで苦手としていた人前で話しをすること、そんな機会がたくさんあります。自己紹介や三分間スピーチなどの場を繰り返し経験します。ここでは安心して吃ることが出来ます。失敗しても平気です。聞き手がみんな吃音者である、吃音を隠す必要はなし。たくさん話すことを奨励されるのです。今まで、恥ずかしい、隠したいとかたくなに思い込んでいた吃りを隠さずに、オープンにしていこうとするのです。単なる発声ではない自然なコミュニケーションとして内容を伝え、他人のそれを聞き入れること、語り合えることが例会の基本となります。

また、担当者による学習会も、時折行われています。

吃音治療の確立した方法がないと考えられる中では、吃音者のセルフヘルプ・グループで、先ず、「経験の分かち合い」が何よりも大切であると考えられています。

途中入室、途中退室可能です。お気軽にご参加下さい。